# 日本子ども社会学会 第 25 回大会 プログラム

2018年7月7日 (土) · 7月8日 (日)

於 武庫川女子大学

共催 武庫川女子大学





# 応募受付開始

2018年7月2日(月)~10月31日(水)

Webにて応募受付、詳しくは博報財団ホームページをご覧ください

http://www.hakuhofoundation.or.jp/

#### 対象となる研究

- 「ことばの教育」に関する研究
- 児童教育実践の質を向上させる研究

#### 応募資格

- 日本の大学・研究機関に所属する研究者 (教授職は除く)
- 日本の学校・教育委員会に所属する 教育実践に携わる方

※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です

#### 助成金額

● 1件につき300万円を限度に助成します

#### 助成期間

2019年4月1日~2020年3月31日 期間終了後、希望する場合は、継続助成の申請をすることができます

#### 【審査委員】(五十音順)

 補見
 孝
 京都大学大学院
 教授

 針生
 悦子
 東京大学大学院
 教授

 藤森
 裕治
 信州大学
 教授

本郷 一夫 東北大学大学院 教授(審査委員長)

横山 詔一 国立国語研究所 教授

#### 公益財団法人 博報児童教育振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8階 TEL.03-5570-5008 FAX.03-5570-5016

## 日本子ども社会学会 第25回大会 プログラム

#### 1. 期日

2018 年 7 月 7 日 (土)・8 日 (日)

#### 2. 会場

武庫川女子大学 中央キャンパス

#### 3. 日程

【前日7月6日(金)】

17:00 ~ 19:00 理事会 (研究所棟 3 階 306 号室)

【1 日目 7 月 7 日 (土)】

9:30 ~ 12:00 研究発表 I (MM 館棟 5 階 各講義室)

12:00 ~ 12:50 総会 (MM 館 5 階 505 号室) (学会賞授賞式を含む)

12:50 ~ 13:40 昼食

13:40 ~ 15:20 研究発表Ⅱ (MM 館 5 階 各講義室)

15:40 ~ 17:40 テーマセッション (MM 館 5 階 503 号室・506 号室)

18:00 ~ 20:00 懇親会 (アゼリア…公江記念講堂地下)

【2 日目 7 月 8 日 (日)】

9:30 ~ 12:00 研究発表Ⅲ (MM 館 5 階 各講義室)

12:00 ~ 13:20 昼食 評議会 (MM 館 6 階 608 号室) 各種委員会

13:20 ~ 15:20 公開シンポジウム (MM 館 1 階 メディアホール)

15:40 ~ 17:40 ラウンドテーブル (MM 館 5 階 各講義室)

#### 4. 大会参加費

一般会員: 4,000 円、 大学院生(会員): 3,000 円、 臨時(当日)会員: 4,000 円

#### 5. 懇親会

7月7日 (土)  $18:00\sim20:00$  武庫川女子大学・アゼリア (公江記念講堂地下) 会費 -般会員: 4,000 円、 大学院生 (会員): 3,000 円

#### 6. 発表時間

個人発表:発表 20 分・質疑応答 5 分 共同発表:発表 40 分・質疑応答 10 分

#### 7. 発表取り消し

発表の取り消し、および発表日時の変更は原則として認めていません。 発表の取り消しの場合は、早急にお知らせください。

#### 8. 当日配布資料

レジュメ等の発表資料を配布される場合は、50 部以上ご用意ください。 不足の場合、大会本部でのコピーはできません。

#### 9. 発表に際しての注意

発表の際、プロジェクターは各室に備え付けてあります。パソコンについては、大会校でも用意はしておりますが、ご自身のものを使用していただくことも可能です(全ての教室で、接続ケーブルは RGB・HDMI の両方に対応)。

なお、Mac や Surface を使用される場合、HDMI に接続する Mini Display Port 用コネクターを各自でお持ちいただければ幸いです。

#### 10. クローク

7月7日(土)・8日(日)とも18:00 まで、MM館5階504号室に用意します。 なお、貴重品はお預かりできませんので、各自でお持ちください。

#### 1 1. 会員控室

MM 館 5 階 507 号室に、お茶・お菓子などを用意しております。どうぞご利用ください。

抜刷・資料交換コーナーもこちらに設けます。

#### 12. 書籍販売

MM館5階フリースペースにて書籍販売を行います。

#### 13. 昼食

7日(土)は、公江記念講堂地下のアゼリア( $10:00\sim14:00$ )が営業を行っています。また、MM館3階のMMカフェ( $10:30\sim13:30$ )では軽食を用意しています。

8 日(日)には、食堂は営業をしておりません。コンビニエンス・ストアは、大学の近くに2店、鳴尾駅前に1店ありますが、飲食店はほとんど営業をしておりません。大変恐縮ですが、各自お弁当などをご準備いただきますようお願いいたします。

#### 14. 大会本部

MM 館 6 階 608 講義室に設けています。

#### 15. 大会実行委員会連絡先

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46 武庫川女子大学教育研究所 安東由則研究室気付 日本子ども社会学会 第 25 回大会実行委員会

E-mail: kosya@mukogawa-u.ac.jp (安東由則)

#### ※1 要旨集録の配布について

要旨集録は昨年度の大会と同様、日本子ども社会学会ホームページから pdf ファイルを ダウンロードできるようにする予定です。公開は 6 月 29 日(金)頃を予定しております。 学会当日は必要な方にのみ冊子の要旨集録を配布する予定ですので、数に限りがござい ます。ぜひ pdf ファイルをダウンロードしてご利用くださいますようお願い申し上げます。

#### ※2 大会当日のゲストアカウントについて

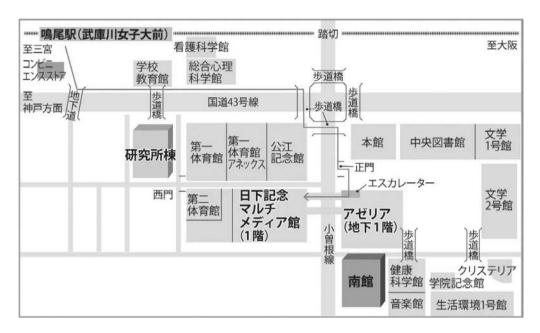
大会当日(7月7日、8日)に限り、ゲストアカウントを設定し、学内にて Wi-Fi を利用できるようにいたしましたので、ご活用ください。

ID: education パスワード: educa3Ha3

#### 武庫川女子大学(中央キャンパス)へのアクセス

#### 最寄駅(鳴尾駅)からのアクセス

• 阪神電車・鳴尾駅を南側に出て、国道 43 号線に沿って東(大阪方面)へ徒歩 10 分。 正門から入って、日下記念マルチメディア (MM) 館へ。(西門は平日・土曜の昼間のみ開門) なお、7月6日(金)の理事会は、研究所棟 3 階にて開催いたします。



#### 最寄駅 (鳴尾駅) への交通アクセス

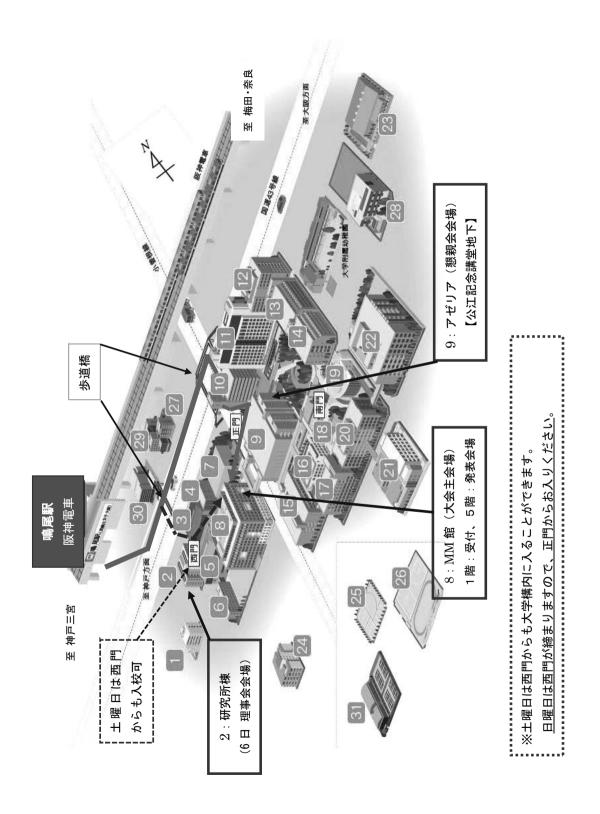
#### 空路の場合

- 大阪国際空港(伊丹空港)から空港リムジンバスで阪神甲子園駅まで約30分。甲子園駅から 阪神電車で鳴尾駅まで1分。
- 神戸空港から神戸新交通ポートアイランド線で三宮駅まで18分。神戸三宮駅から阪神電車で 鳴尾駅まで25~30分(特急か急行に乗車し西宮駅か甲子園駅で普通に乗り換え、鳴尾駅下車)。
- 関西国際空港からリムジンバスで阪神西宮駅まで約 60 分。西宮駅から阪神電車の普通に乗車 し鳴尾駅まで 6 分。

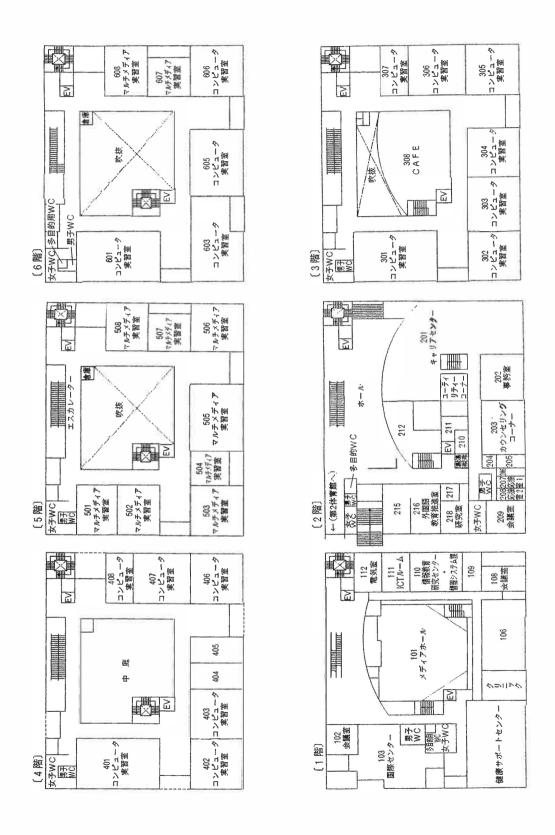
#### 新幹線の場合

- 新大阪駅から JR で大阪駅 (梅田) まで 4分。梅田駅から阪神電車で鳴尾駅へ 26分 (梅田駅 で特急か急行に乗車し、尼崎駅で普通に乗り換えて鳴尾駅下車)。
- 新神戸駅から神戸市営地下鉄西神・山手線で三宮駅まで2分。神戸三宮駅から阪神電車で鳴尾駅へ25~30分(神戸三宮駅で特急か急行に乗車し、西宮駅か甲子園駅で普通に乗り換え、鳴尾駅下車)。
- ※1. JR 甲子園口から阪神バスは出ていますが (武庫川女子大学前下車)、本数が少なく、渋滞することもあるため、阪神電車の利用をお勧めします。
- ※2. 武庫川女子大学 HP もご覧ください(http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/campus/access.html)。

# 武庫川女子大学 中央キャンパスマップ



# 日下記念マルチメディア館 (MM)



#### 研究発表I

2018年7月7日(土) 9時30分~12時00分 MM 503号室

#### Ⅰ-1 【 幼児の活動 】

司会 湯地 宏樹 (鳴門教育大学)

9時30分~9時55分

幼児の遊びを阻害する要因に関する研究(Ⅱ)

— 幼稚園 3 歳児クラスにおける保育記録から — 高橋 公子(奥州市立南都田幼稚園)

9時55分~10時20分

子どもの「運動あそび」に対する成人の理解及び保護者の実践

一 インターネットによる 900 名調査より 一

○森谷 路子(〈株〉ティップネス) 吉田 伊津美(東京学芸大学)

10 時 20 分~10 時 45 分

幼児同士のかかわりと幼児理解に関する一考察 岡田 たつみ(帝京大学)

10 時 45 分~11 時 10 分

通園バス車内での子どもの活動に関する質的研究 境 愛一郎(宮城学院女子大学)

11 時 10 分~12 時 00 分

2018年7月7日(土)9時30分~12時00分 MM 506号室

#### Ⅰ-2 【若 者】

司会 片山 悠樹 (愛知教育大学)

9時30分~9時55分

海外生活体験が帰国子女に与えた影響

安達 美帆子 (T-GAL/元放送大学大学院)

9時55分~10時20分

偏位する「孤立」の実態

- ネットワーク分析の視点に立つ子ども若者調査から - 古賀 正義 (中央大学)

10 時 20 分~10 時 45 分

10代の出産と自立した生活

梅原 佐知子 (東京都立八潮高等学校)

10 時 45 分~11 時 10 分

地域とのつながりが小中学生のレジリエンスに及ぼす影響 濱元 伸彦(京都造形芸術大学)

11 時 10 分~12 時 00 分 総括討論

#### 研究発表I

2018年7月7日(土) 9時30分~12時00分 MM 508号室

#### Ⅰ-3 【 子育て支援と家庭支援 】

司会 押谷 由夫(武庫川女子大学)

9時30分~9時55分

「親学」について

一 その内容・背景・影響 —

友野 清文(昭和女子大学)

9時55分~10時20分

父子家庭の課題と社会教育の役割

— 当事者による「シングルファザーハンドブック」制作活動を手がかりに — 吉岡 亜希子(北海道文教大学)

10 時 20 分~10 時 45 分

「子育ての社会化」からみた保育所の子育て支援

保育所保育指針改定の議論を手がかりに ―山本 由紀子(太成学院大学)

10 時 45 分~11 時 10 分

幼保小連携の実際と課題

- H 市教育委員会の研修会の取り組みから -

奥山 優佳(東北文教大学短期大学部)

11 時 10 分~12 時 00 分

2018年7月7日(土)9時30分~12時00分 MM 501号室

#### I-4 【教育実践】

司会 新富 康央 (國學院大学)

9時30分~9時55分

保育者養成校における絵本にみる環境教育の実践 - 0、1、2歳と3、4、5歳の絵本への学生の気づきを目指して - 早川 礎子 (小田原短期大学)

9時55分~10時20分

小学校特別活動における新しい防犯教育「防犯モラルジレンマ学習」の実践 宮田 美恵子(順天堂大学)

10 時 20 分~10 時 45 分

生徒指導における教師の指導力に関する一考察 矢島 基一(千葉県野田市立尾崎小学校)

10 時 45 分~11 時 10 分

美術鑑賞振り返り学習における中学生の記述の質的研究の試み

「琳派」関連作品高精細複製等の鑑賞を中心に ー 由良 知彦(京都市立桂中学校)

11 時 10 分~12 時 00 分 総括討論

2018年7月7日(土)13時40分~15時20分 MM 501号室

#### Ⅱ-1 【子どもと地域社会】

司会 住田 正樹 (放送大学客員教授)

13 時 40 分~14 時 05 分

地域社会における子どものキャリア形成に関する研究

― 岩手県盛岡市内の小・中学生を対象に ―

○渡部 芳栄(岩手県立大学) 白旗 希実子(東北公益文科大学) 石井 美和(東北文教大学短期大学部)

14 時 05 分~14 時 30 分

コミュニティ・スクールと「コミュニティ創成」 春日 清孝(明治学院大学非常勤)

14 時 30 分~14 時 55 分

I 中学校の同和教育実践(1990-91 年度)と 25 年後 原田 彰 (広島大学名誉教授)

14 時 55 分~15 時 20 分 総括討論

2018年7月7日(土)13時40分~15時20分 MM 502号室

#### Ⅱ-2 【 子どもの体験活動 】

司会 長谷川 祐介 (大分大学)

13 時 40 分~14 時 05 分

吃音のある子どもたちのセルフヘルプ・グループ活動の展開 (I)

一 吃音親子サマーキャンプの実践から 一

坂本 英樹(早稲田大阪学園 向陽台高等学校)

14 時 05 分~14 時 30 分

ワイルダネス・キャンプ体験が青少年に与える影響

上代 繁 (ボーイスカウト四街道第2団)

14 時 30 分~14 時 55 分

「森の探検隊アプローチ」は子どもたちの学びあいをどのように引き出しているのか

○福島 真吾(〈株〉スポーツメディア)

江田 理英(〈株〉スポーツメディア)

淀澤 真帆 (広島大学大学院)

14 時 55 分~15 時 20 分

2018年7月7日(土)13時40分~15時20分 MM 503号室

#### Ⅱ-3 【 地域連携 】

司会 尾川 満宏 (愛媛大学)

13 時 40 分~14 時 05 分

小学校と放課後対策事業との組織的関係に関する研究

一 学校の「対境担当者」の意識に着目して 一 鈴木 瞬(くらしき作陽大学)

14 時 05 分~14 時 30 分

団地子育て支援実践に参加する子どもの行動変容

- S君2年間の活動記録より -

相戸 晴子(宮崎国際大学)

14 時 30 分~14 時 55 分

地域との連携と子どもが口にするもの

- ある町内会の小学校での餅つきの取り組みから - 金澤 妙子 (大東文化大学)

14 時 55 分~15 時 20 分

2018年7月7日(土)13時40分~15時20分 MM 506号室

#### Ⅱ-4 【施設と家庭支援】

司会 田中 理絵(山口大学)

13 時 40 分~14 時 05 分

児童養護施設で暮らす小学生男子をとりまく人間関係 - 子ども同士の友人/仲間関係の違いに着目して - 三品 拓人(大阪大学)

14 時 05 分~14 時 30 分

児童養護施設職員の家庭支援を通した意識変容に関する考察 山口 季音 (至誠館大学)

14 時 30 分~14 時 55 分

子育て支援施設における母親グループの自主保育(2)

— M-GTA によるエンパワー過程の分析 —

○加藤 直子(日本女子大学学術研究員) 請川 滋大(日本女子大学)

14 時 55 分~15 時 20 分 総括討論

2018年7月7日(土)13時40分~15時20分 MM 508号室

#### Ⅱ-5 【 保育者養成校の教育 】

司会 伊藤 秀樹 (東京学芸大学)

13 時 40 分~14 時 05 分

定時制・通信制高校出身の専門学生と学校生活

- 保育系専門学校での事例考察 -

内田 康弘 (愛知教育大学・日本学術振興会特別研究員)

14 時 05 分~14 時 30 分

保育者養成校学生に必要な表現活動の知識・技能について 中村 三緒子 (淑徳大学短期大学部)

14 時 30 分~14 時 55 分

保育系専門学校における「専門性」とキャリア展望 片山 悠樹 (愛知教育大学)

14 時 55 分~15 時 20 分 総括討論

2018年7月7日(土) 15時40分~17時40分 MM 503号室

#### 【テーマ】

きょうだい関係とは何か:個別性と関係性を探る

#### 【話題提供者】

磯崎 三喜年(国際基督教大学・研究交流委員会委員)

「子どもの個と関係性 ― きょうだい・友人関係の視点から ―」

Aung Ko Ko Lvnn (国際基督教大学大学院)

「出生順ときょうだい関係の心理: Birth order differences in self-evaluation maintenance behavior」(英語での話題提供、適宜日本語による説明あり)

伊藤 秀樹 (東京学芸大学·研究交流委員会委員)

「進路選択ときょうだい ― 教育社会学の視点から ―」

#### 【司会・コーディネーター】

磯崎 三喜年(国際基督教大学・研究交流委員会委員)

伊藤 秀樹 (東京学芸大学·研究交流委員会委員)

#### 【企画趣旨】

きょうだい関係は、子どもの個と関係性を育むうえで重要なものと言える。しかし、研究の蓄積とそのインプリケーションをよそに、今日では、相互にメリットをもたらすものとしての「資源」と、葛藤と憎悪をもたらす「リスク」という両義性の狭間で揺れている。

本テーマセッションでは、きょうだい関係という視点から、子どもの個別性と関係性の問題を取り上げ、きょうだい関係が子ども社会にとってどのような役割と意味を持つかを論じ、きょうだい関係(および友人関係)について再考することにしたい。

きょうだい関係は、心理学、教育学、社会学、保育学など、さまざまな学問と接点を持ち、その接合領域として捉えることができる。学際性と独自性を追求する子ども社会学会の特色を生かし、多様な視点からきょうだい関係とは何かを追究・展望し、きょうだい関係研究とその関連領域の問題について議論を深めることができればと願っている。

話題提供者として、きょうだい心理学の Aung Ko Ko Lynn 氏に登壇いただく。また、教育社会学の立場から伊藤秀樹会員、社会心理学の立場から磯崎三喜年会員が話題提供し、子ども社会におけるきょうだいとは何かを論じることにしたい。

#### テーマセッションⅡ

2018年7月7日(土) 15時40分~17時40分 MM 506号室

#### 【テーマ】

児童文学とジェンダー

#### 【話題提供者】

ひこ・田中 (児童文学作家)

「どう描くのか」

足立 まな (丹波市立春日部小学校)

「絵本と学ぶ多様な性 一授業実践をとおして一」

目黒 強 (神戸大学・研究交流委員会委員)

「児童文学の正統化とジェンダー ― 男の子像の揺らぎに着目して ―」

#### 【コーディネーター】

目黒 強 (神戸大学·研究交流委員会委員)

#### 【司会】

多賀 太 (関西大学·研究交流委員会委員長)

#### 【企画趣旨】

児童文学は、子どもに加え、子どもに本を手渡す媒介者(保護者、教員など)を読者対象としているジャンルである。このようなジャンル特性ゆえに、児童文学には子どもの社会化が期待されてきた。その一方で、社会化からの子どもの解放を試みる児童文学作品も認められる。このような社会化をめぐるポリティクスは、とりわけ、ジェンダーをめぐって生じていると考えられる。

そこで、本テーマセッションでは、ジェンダーの観点から児童文学作品に描かれた子ども像や児童文学作品が手渡される現場の課題と可能性について議論したいと考えた。児童文学研究でも、ジェンダー研究は蓄積されつつあるが、その多くは少女が対象であり、少年については十分に検討されておらず、トランスジェンダーや同性愛などの多様な性についてはほとんど検討されていない(エス=女学生同士の強い絆を除く)。したがって、今回のテーマセッションでは、少女のみならず、少年やLGBTを視野に入れ、議論を拡げたい。

話題提供者として、児童文学作家のひこ・田中氏、小学校教員の足立まな氏、児童文学研究者の目黒強会員にご登壇いただき、それぞれの立場から本テーマについて話題をご提供いただくとともに、立場を超えて議論を拡げたり深めたりできればと思う。

児童文学を導きの糸にしながら、ジェンダーが再生産されたり、更新されたりするポリティクスについて、文学研究者や教育関係者はもちろんのこと、関連領域をご専門とする方々とともに学術交流できればと思う。

2018年7月8日(日)9時30分~12時00分 MM501号室

#### Ⅲ-1 【 歴史における子ども・文化 】

司会 目黒 強(神戸大学)

9時30分~9時55分

近代少年雑誌『少年界』にみる読者の戦争観の形成 田中 卓也 (共栄大学)

9時55分~10時20分

子どものための人形劇作品に関する研究(1)

「お茶の水人形座」の脚本を中心に ―松崎 行代(京都女子大学)

10 時 20 分~10 時 45 分

大正・昭和初期の幼稚園における家庭支援と地域社会とのかかわり

「家なき幼稚園」・「善隣幼稚園」の活動を中心に ―和田 真由美(姫路大学)

10 時 45 分~11 時 10 分

19・20世紀転換期ドイツ市民家庭の女中たちの文化が主家の子どもたちに及ぼした 影響についての一考察

— 愛唱歌集『台所からの歌』(1957) を手がかりに — 藤田 泉 (平成音楽大学)

11 時 10 分~12 時 00 分

2018年7月8日(日)9時30分~12時00分 MM 502号室

#### Ⅲ-2 【 子ども理解 】

司会 麻生 武(奈良女子大学特任教授)

9時30分~9時55分

ルール適用の厳格な集まり場面で子どもは保育者の咎める行為をいかに利用しているか 保木井 啓史(福島大学)

9時55分~10時20分

乳児はどのようなときに保育者の背中を求めてくるのか?

- ― 保育者のアプローチとしての「背中の保育」 ―
  - ○水野 佳津子(佼成育子園) 中坪 史典(広島大学)

10 時 20 分~10 時 45 分

保育のICT化の動向と今後の課題

○二宮 祐子 (東京女子体育大学・短期大学) 富山 大士 (こども教育宝仙大学)

10 時 45 分~11 時 10 分

子ども社会の測定と調査倫理について

一 他分野との共通性と他分野にはない独自性を探る 一 浜島 幸司 (同志社大学)

11 時 10 分~12 時 00 分

2018年7月8日(日)9時30分~12時00分 MM 508号室

#### Ⅲ-3 【 保育者 】

司会 青井 倫子 (愛媛大学)

9時30分~9時55分

保育者の成長を促す園長のリーダーシップに関する研究

- 遊具としての陶器を導入するA幼稚園の事例から -

○田島 美帆 (広島大学大学院) 淀澤 真帆 (広島大学大学院) 中坪 史典 (広島大学)

9時55分~10時20分

保育者の"働きがい"の形成プロセス

香曽我部 琢(宮城教育大学)

10 時 20 分~10 時 45 分

保育者の職の継続Ⅲ

一職場内の葛藤に着目した育児休業における職場復帰プログラム ー中井 雅子(十文字学園女子大学)

10 時 45 分~11 時 10 分

保育者の意識変容プロセスを描く方法論としてのオートエスノグラフィーの可能性と課題 濱名 潔 (武庫愛の園幼稚園・広島大学大学院)

11 時 10 分~12 時 00 分

2018年7月8日(日)9時30分~12時00分 MM506号室

#### Ⅲ-4 【教育格差】

司会 石黒 万里子(東京成徳大学)

9時30分~9時55分

家族格差がもたらす教育的不平等の是正策とその課題

一 シンガポールの事例から —

シム チュン・キャット (昭和女子大学)

9時55分~10時20分

義務教育未修了者の社会的不利益に関する事例的研究 かのう ひであき(名桜大学)

10 時 20 分~11 時 10 分

学力調査の及ぼした影響に関する研究

- 一 沖縄本島と離島・秋田との比較をとおして 一
  - ○西本 裕輝(琉球大学)
  - ○馬居 政幸(静岡大学名誉教授、馬居教育調査研究所)
  - ○望月 重信 (明治学院大学名誉教授)

角替 弘規(静岡県立大学)

遠藤 宏美(宮崎大学)

11 時 10 分~12 時 00 分 総括討論

# 2018年7月8日(日)13時20分~15時20分MM1階メディアホール

#### 公開シンポジウム

#### 子どもが育ちあうコミュニティをつくる

登壇者:木村 泰子(大阪市立大空小学校元校長)

西野 博之(NPO法人フリースペースたまりば)

指定討論者: 林 美輝(龍谷大学)

司 会:安東 由則(武庫川女子大学)

#### 内容

発達障害や貧困、いじめ、不登校など、成長過程においてさまざまな困難を抱える子どもたちを、誰が、どこで、どのように支えていくかが問われており、今日における喫緊の課題となっている。子どもによって、それぞれが抱える困難の種類や程度は様々で、各人がもつ社会資源も異なる中、当事者だけでなく、家族や周囲の環境を含めてどのような支援のあり方が望ましいのか、学校、福祉機関、行政機関、NPO、地域やボランティアなど様々な角度から模索されてはいるが、共通基盤をつくり、連携をとった取り組みとはなっていないのではないか。子どもの成長における安全はどのようにして確保できるのか、子どもたちが安心して自己を主張し他者を受け入れながら生活を営めるようにするにはどうすればよいのか、子ども同士の活動を通じてともに育ちあうにはどのような環境整備がなされればよいのか、それができない今日の何が問題なのか。大きな課題ではあるが、こうした問いについて一石を投じ、子どもが安心して育ちあえる場のあり方について考えたい。

今回のシンポジウムでは、二人の実践者から現状や取り組みについてお話しをいただき、それを基に議論を進めていく。一人は、映画『みんなの学校』(関西テレビ、2014年)でご存じの方も多いと思われるが、「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、大阪市西成区の公立小学校の校長として、障害の有無にかかわらず子どもたちが共に学び育ち合う場をつくる実践を行ってこられた木村泰子氏である。もう一人は、学校に自分の居場所が見いだせなくなった子どものたちのために、「フリースペースたまりば」を1991年に開設し、さらに不登校生に対する公設民営「フリースペースえん」を2003年以降運営されるなど、その取り組みを広げ、積極的に発信されている西野博之氏である。一方は学校、他方はNPOと異なる立場から実践をされてきたお二人をシンポジストとして迎え、子どもが育ちあうコミュニティづくりの実践とその意義、課題について話していただく。議論を深めるため、龍谷大学の林美輝氏に指定討論者をお願いした。会場からの意見を含め、活発な議論を期待している。

#### ラウンドテーブル I

2018年7月8日(日) 15時40分~17時40分 MM 503号室

#### 申込者氏名・所属

西本 裕輝 (琉球大学)

#### テーマ

学力調査 10 年の影響から問い直す新学習指導要領の可能性 - 2030 年問題における公教育制度再構築の課題に挑む。-

#### 1) コーディネーター

西本 裕輝 (琉球大学)

望月 重信(明治学院大学名誉教授)

馬居 政幸(静岡大学名誉教授、馬居教育調査研究所)

#### 2) 司会者

西本 裕輝 (琉球大学)

#### 3)提案者·討論者

濱田 純 (秋田大学) 藤田 由美子 (福岡大学) 角替 弘規 (静岡県立大学) 遠藤 宏美 (宮崎大学)

島田 桂吾 (静岡大学) 橋尾 由貴 (三木市立自由が丘東小学校)

#### 内容

私たちは第 24 回大会において、「新学習指導要領と子ども子育て支援制度の課題と可能性一人口減少時代における公教育制度再構築の視座を求めて一」をテーマにラウンドテーブルに参加し、「実施主体として自治体行政」「人口減少先進地域での小規模義務教育学校」「外国にルーツをもつ子どもたちの学び」「公教育制度に埋め込まれたジェンダーバイアス」という 4 種の観点から問題提起を試みた。

第25回大会のランドテーブルにおいては、その成果を更に高めるために、新学習指導要領実施時間が2030年(団塊の世代が80歳代)を社会制度改変の区切りとみなす2030年問題に重なることに注目する。

年少人口減、老年人口増、生産年齢人口減+女性・高齢者・国籍を異にする人たちの労働力化が同時進行する社会を生きる場とする人たちへの学びと教えを担う公教育制度のあるべき姿とその実現への課題とは何か。この問いに、小中高の教育現場を担う教職員との協働により、学力調査10年の学校教育への影響を尺度において、新学習指導要領実践化の可能性(適否・可否・功罪)を再評価することから応えたい。

#### ラウンドテーブルⅡ

2018年7月8日(日) 15時40分~17時40分 MM 501号室

#### 申込者氏名・所属

田中 卓也(共栄大学)

#### テーマ

子ども文化論(児童文化論)テキストの分析および検討 一保育実習、幼稚園教育実習との関連を通して一

#### 1) コーディネーター

田中 卓也 (共栄大学)

#### 2) 司会者

和田 真由美(姫路大学)

#### 3)提案者·討論者

橋爪 けい子 (浜松学院大学短期大学部) 伊藤 恵里子 (千葉明徳短期大学) 田中 卓也 (共栄大学)

#### 内容

本ラウンドテーブルは、保育者養成に携わる大学教員を中心に構成されたものであり、講義科目の一つでもある、「子ども文化論」(児童文化論、児童文化など)の現在公刊されているテキストに着目しながら、目次をはじめとする内容の分析および考察を試みながら、テキスト間の比較および分析を行うものである。また受講学生のテキスト内容の理解度や関心、意欲についての事情や、保育実習および幼稚園教育実習との関連についての実態についてもせまるものである。この企画を通じて、のぞましい子ども文化論、児童文化論の講義のあり方や課題について見い出し、会員および保育者養成に携わる方たちとともに考える機会としたい。

#### ラウンドテーブル皿

2018年7月8日(日) 15時40分~17時40分 MM 508号室

#### 申込者氏名・所属

押谷 由夫(武庫川女子大学)

#### テーマ

学校現場における道徳教育改革への対応と意識

―「特別の教科 道徳」を中心とした調査研究の分析を中心として―

#### 1) コーディネーター

押谷 由夫(武庫川女子大学)

#### 2) 司会者

冨江 英俊(関西学院大学)

#### 3)提案者·討論者

押谷 由夫(武庫川女子大学)

矢作 信行(帝京平成大学)

齋藤 道子(東京都文京区立明化小学校)

木崎 ちのぶ (昭和女子大学)

谷山 優子(神戸女子大学)

南本 長穂(京都文教大学)

須田 康之(兵庫教育大学)

#### 内容

現在、文部科学省では、道徳教育の抜本的改善・充実と銘打って、新教科「特別の教科 道徳」の設置をはじめ、道徳教育改革に取り組んでいます。道徳教育の充実は、子どもに関する深刻な事件が起こるたびに強調され、充実が図られていますが、今回は全く新しい対応になります。そのことに対して学校現場はどのように思っているのか、また現在「特別の教科道徳」を中心とする道徳教育改革にどのように取り組んでいるのか、そのような改革の具体化にとってどのようなことが課題になるのかといったことを、平成30年3月に実施した全国調査から明らかにし、調査結果を基にした研究的な視点と実践的な視点から、これからの道徳教育の在り方について協議できればと思い企画しました。ふるってご参加ください。

#### ラウンドテーブル™

2018年7月8日(日) 15時40分~17時40分 MM 506号室

#### 申込者氏名・所属

加藤 理(文教大学・紀要編集委員会委員長)

#### テーマ

近代的人間モデルを問い直す 一「子ども」を社会の基盤する新しい社会とは何か―

#### 1) コーディネーター

加藤 理(文教大学・紀要編集委員会委員長)

#### 2) 司会者

加藤 理(文教大学・紀要編集委員会委員長)

#### 3)提案者

山田 富秋 (松山大学・紀要編集委員会委員)

#### 内容

現代の経済や法律の前提となる自由主義社会理論が、その限界を露呈してきたことは疑いようがない。確かに、自由主義は経済の分野でも法律の分野でも、対等な個人が自由意思によって互いに契約を結ぶことができると想定したが、現象学の立場に立つ社会哲学者のジョン・オニール(John O'Neil)によれば、それは、身体を持たず、どんなジェンダーにも位置づけられず、家族を持たない主体なのである。むしろ、この世に生まれるということは、特定の歴史的背景を持つコミュニティに立脚した家族の一員として生まれ出ることを意味するし、それによって、親世代と子世代の架け橋が生まれたことを意味する。それは同時に、子どものケアをめぐって、人間同士の依存関係が必然的に生まれることを意味する。私たちは今や、自由主義社会理論の代わりに、「子ども」という存在を社会理論の根底に捉えて、歴史とコミュニティ、家族と世代間継承、そしてジェンダーとケアを中心に考えるべき時に来ているのではないか。

このラウンドテーブルでは、私たちの問題提起へのさまざまな応答を期待したい。

#### 日本子ども社会学会 第25回大会実行委員会

実行委員長 安東 由則(武庫川女子大学) 実行委員 押谷 由夫(武庫川女子大学)

 佐野
 友恵(武庫川女子大学)

 久保田
 真功(関西学院大学)

 池田
 曜子(流通科学大学)

 尾場
 友和(大阪商業大学)

日本子ども社会学会 第25回大会 プログラム

発行日 2018年5月21日

編集 日本子ども社会学会 第25回大会実行委員会

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46

武庫川女子大学・教育研究所 安東由則研究室 気付

発行 日本子ども社会学会事務局

〒152-0004 東京都目黒区鷹番 3-6-1 内外出版株式会社内

# ●放送大学テキスト



# 戦後日本教育史

貝塚茂樹

2018年発行 ¥2,700+税

# 地域コミュニティと教育

玉井康之・夏秋英房・岩永雅也・ 宮田美恵子 2018年発行 ¥2,800+税

# 現代の家庭教育

田中理絵・天童睦子・東野充成・ 遠藤野ゆり 2018年発行 ¥2,500+税

# 生涯学習の新たな動向と課題

立田慶裕

2018年発行 ¥2,800+税

# 現代社会の児童生徒指導

古賀正義・山田哲也・田中理絵 金子真理子 2017年発行 ¥3,100+税

# 子ども・青年の文化と教育

岩田弘三・谷田川ルミ・岡田佳子・冨江英俊 熊田博喜 2017年発行 ¥2,600+税

# カリキュラム編成論[改訂版]

田中博之

2017年発行 ¥3,600+税

# 教育文化の社会学

稲垣恭子

2017年発行 ¥2,600+税

# 道徳教育の理念と実践

押谷由夫・永田繁雄・新井浅浩・諸富祥彦 西野真由美 2016年発行 ¥2,900+税

# カリキュラムと学習過程

浅沼茂・奈須正裕・北村和夫・成田幸夫 久野弘幸 2016年発行 ¥2,700+税

# 学校と法[改訂版]

坂田仰・岩橋健定・黒川雅子・山田知代 2016年発行 ¥2,300+税

# 現代日本の教師

油布佐和子・岩立京子・佐久間亜紀 元兼正浩 2015年発行 ¥2,700+税

# 幼児教育の指導法

師岡章・佐久間路子・田中浩二 2015年発行 ¥2,700+税

# 人間発達論特論

住田正樹・田中理絵

2015年発行 ¥3,200+税

#### 教育学入門 - 教育を科学するとは -

岡崎友典・永井聖二・冨江英俊・加藤理 2015年発行 ¥2,600+税

## 乳幼児の保育・教育[新訂]

岡崎友典・梅沢実・井上清美・押元信幸 芦田川祐子 2015年発行 ¥2,300+税

# 教育の社会学

近藤博之·岩井八郎·木村涼子·中澤渉 大多和直樹 2015年発行 ¥2,700+税

# 道徳教育の方法

堺正之

2015年発行 ¥2,300+税

# 教育と社会

岩永雅也

2011年発行 ¥2,600+税

# コミュニティ教育論

**岡崎友典・玉井康之** 2010年発行 ¥2,600+税

●ご希望の方に「図書目録」をお送りします。詳しくは WWW.ua-book.or.jp



票 **放送大学教育振興会** TEL 03-3502-2750 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-14-1 FAX 03-3592-2482

#### **ピア・パワー** 子どもの仲間集団の社会学

P. A. アドラー & P. アドラー 住田正樹 監訳

A5 判 454 頁 4,000 円

子どもたちは戸惑い揺れ動きながらも仲間集団を通して成長していく。 著者夫妻自らの子を含む子どもたちの姿を8年間に及ぶ調査観察に より解き明かした、子ども社会学不朽の名著。待望の翻訳。

# 子ども社会学の現在

いじめ・問題行動・育児不安の構造

住田正樹

A5 判 328 頁 3.800 円

# リトルリーグの社会学

前青年期のサブカルチャー

G.A.ファイン/住田正樹 監訳

A5判 360頁 3,800円

# 子どもたちの「居場所」と 対人的世界の現在

住田正樹・南 博文編

A5判 476頁 6,000円

# 地域社会と教育

子どもの発達と地域社会

住田正樹

A5判 398頁 5,700円

# 思考する歴史教育への挑戦

暗記型か、思考型か、揺れるアメリカ

川上具美

A5 判 340 頁 3,600 円

保守派のバックラッシュや新自由主義に晒されるアメリカの教育現場 において、子どもたちに人物や出来事の暗記ではない、真の歴史的 思考力を育成しようとする教師たちの理念と実践を明らかにする。

# 教育社会学 第三のソリューション

A.H. ハルゼー/H. ローダー/P. ブラウン/A.S. ウェルズ 編

住田正樹・秋永雄─・吉本圭─ 編訳

A5判 672頁 8,700円

# 新版 現代の社会教育と生涯学習

松田武雄 編著

A5判 272頁 2.800円

# 子どものワークショップと体験理解

感性的な視点からの実践研究のアプローチ

笠原広一

A5 判 250 頁 2,800 円

# 移民とドイツ社会をつなぐ教育支援

異文化間教育の視点から

伊藤襾希子

A5判 274頁 4.200円

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-8-34 九州大学産学官連携イノベーションプラザ 305

TEL: 092-833-9150 FAX: 092-833-9160 《価格税別》

# 九州大学出版会

# CHU-O INSTITUTE for Educational Research

中央教育研究所は、教育の組織・内容・方法等について、基本的・実証的な 調査研究を行うことによって、教育科学の推進、教育現場の発展に寄与する ことを目的とした研究所です。以下の公益目的事業を中心に活動しています。

# <u>シンポジウム事業</u>

講演活動の支援も実施。

今日的な教育課題に関するシンポジウ ム、セミナーを全国各地で展開。 東日本大震災避難児童生徒の支援活動、

教科書研究への助成事

若手研究者を対象に教科書に関する研 究を公募、奨励金を交付して助成。

育に関する調査研究事

小中高大を接続する言語教育の在り方 の研究や教育の情報化の研究、人口減 少問題と学校教育問題、教育に関する 調査研究等のプロジェクトを展開。

賞の論文審査事業

東書教育賞を共催し、教育実践論文の 審査と論文集の作成を担当。

〒114-0004 東京都北区堀船 2-17-1 Tel. 03-5390-7488 Fax. 03-5390-7489 ホームページ—http://www.chu-ken.jp/ Eメール——chu-ken@nifty.com

#### 第47回 教育展望セミナー

■大会主題:資質・能力を育成する教育課程の編成と実施Ⅱ

■日程: 平成30年8月6日(月)、7日(火)

6日(月)全体会

教育講演:池谷裕二 (東京大学大学院薬学系教授) パネルディスカッション「資質・能力を育成する教 育課程の編成と実施をどのように進めるか」

7日(火)分科会

第一分科会 (経営部会)/教科等横断的な視点での教育課程 の編成と実施をどのように進めるか/新教育課程で求め られる人材育成や働き方改革をどのように進めるか

第二分科会 (小学校部会)/主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をどのように進めるか/学習の基盤 となる情報活用能力を育成する教育課程の編成と実施を どのように進めるか

第三分科会 (中学校部会)/学習の基盤となる情報活用能力 を育成する教育課程の編成と実施をどのように進めるか (主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を どのように進めるか

■会場:アルカディア市ヶ谷(私学会館) (JR・地下鉄市ヶ谷駅下車, 徒歩3分)

2日間:14,400円, 1日のみ:9,300円(含資料代)

■お申し込み

ご参加には事前のお申し込みが必要です。ご希望の 方は当研究所まで、開催案内をご請求ください。

# 月刊「教育展望」

毎月1日発行 A5判, 448円+税

2018年 特集

7・8月号 改めて問う、深い学びとは

6月号 学校における働き方改革を探る-実態と課題-

5月号 子どものいじめ・自殺問題と学校教育

4月号 新しい学校文化の創造

3月号 新学習指導要領から見える新しい授業像

1・2月号 明日を目ざす日本の教育像

2017年 特集

12月号 第46回 教育展望セミナー 分科会報告

11月号 第46回 教育展望セミナー 全体会報告

10月号 新学習指導要領とこれからの情報教育の展望

9月号 新教育課程が求める教師力

7・8月号 改めて問う「学び方・教え方」の視座

6月号 新学習指導要領で教科はどのように変わるか2

5月号 新学習指導要領で教科はどのように変わるか1

4月号 新学習指導要領への対応

# 教育展望。臨時増刊

セミナー研究討議資料 A5判, 2,381円+税

No.49 (第46回教育展望セミナー) 2017年7月発行, 124ページ 資質・能力を育成する教育課程の編成と実施

No.48 (第45回教育展望セミナー) 2016年7月発行, 124ページ これからの時代に求められる資質・能力~学校教育の質を問う~ No.47 (第44回教育展望セミナー) 2015年7月発行, 124ページ グローバル化社会の学校教育Ⅱ~これからの時代に求められる資質・能力~

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

一般財団法人 **教育調査研究所** TEL: 03-3238-6974 FAX: 03-3238-6975 E-mail: chouken@estate.ocn.ne.jp

# ベネッセの調査・研究活動

**ベネッセ教育総合研究所**では、子どもたちのよりよい生活や育ちの環境、学習のあり方を追究 していくために、子育で・教育のさまざまな側面に焦点をあてて調査・研究を行っています。

■ ベネッセ教育総合研究所・朝日新聞社共同調査 「学校教育に対する保護者の意識調査2018」ダイジェスト版

ベネッセ教育総合研究所は朝日新聞社と共同で、2017年12月~2018年1月にかけて、 全国の公立小学校2年生・5年生、公立中学校2年生をもつ保護者を対象に「学校教育に 対する保護者の意識調査2018」を実施しました。本調査は2004年、2008年、2013年にも 調査を実施しており、14年間の保護者の学校教育に対する意識の変化を捉えることが できます。

■ 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究 「子どもの生活と学びに関する親子調査2015-2016」速報版

東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所は、2014年に、全国の小学1年生~ 高校3年生の子どもとその保護者約2万1千組の調査モニターを対象に、毎年1回以上の 定期的な調査(親子パネル調査)を実施する共同研究プロジェクトを発足しました。 本速報版では、その第1回(Wave1)・第2回(Wave2)の追跡調査をもとに、12学年の子ども の「学習」の実態と1年間の変化を明らかにしました。今後も毎年、同じ子どもと保護者を調査 し、子どもの生活や学習、保護者の子育ての様子など、親子の「成長・発達」とその因果関係 を明らかにしていきます。

\*「子どもの生活と学びに関する親子調査2015-2017」速報版は2018年5月末よりウェブサイトに掲載。





**ベネッセ教育総合研究所で実施している各調査結果は、以下のウェブサイトにてご覧いただくか、** 報告書などのタイトルでご検索ください。 \*調査報告書の販売はしておりません。ご了承ください。

#### 新版 教育社会とジェンダ-

河野銀子・藤田由美子 編著

本体2100円



#### 理系教職のための 教育入門

東野充成・谷田川ルミ 編著

等の理系学生へむけた教育学テキスト。





私たちの世界にはどのようなジェンダーが埋め込まれているのか。男女の性差 のみならずLGBTの人々への視点を取り入れ編まれた教育社会学テキスト。

# 



# 保育者の危機と

幼稚園教員の初期キャリアに関する質的研究



海外の子どもの貧困対策のためのプログラムの実際、福祉関連QOLの視点から 政策の評価方法等について検討。子どもの貧困対策のあり方について提言。

早期離職の多い若手保育者の初期キャリアについての質的研究。どのような 困難や葛藤を抱え、どのようなプロセスを経て専門的成長を遂げていくのか。

数学、理科、工業、情報などの教員免許状の取得を目指している工学部、理学部

#### 大学生が本気で考える子どもの放課後

弘前大学生の地域参加とプレイワーク実践

深作拓郎・岸本麻依 編集代表 ●本体1700円 160頁 弘前大学学生・教員研究会らぶちる 著

#### 子どもの放課後にかかわる人のQ&A50 子どもの力になるプレイワーク実践(遊ぶ・暮らす)

プレイワーク研究会 編

●本体1600円 136頁

早稲田教育ブックレット 18 学校教育におけるマンガの可能性を探る 早稲田大学教育総合研究所 監修 ●本体1000円

#### 教育の基礎と展開 第二版

豊かな保育・教育のつながりをめざして

髙野良子·武内清 編著

●本体2000円 200頁

男子問題の時代? 錯綜するジェンダーと教育のポリティクス 多賀太 著 ●本体2200円 240頁

災害と子ども支援復興のまちづくりに子ども参加を

安部芳絵 著 ●本体2300円 264頁

<社会のセキュリティ>を生きる

「安全」「安心」と「幸福」との関係

春日清孝・楠秀樹・牧野修也 編著 ●本体2400円 216頁

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1 http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012 E-mail: eigyo@gakubunsha.com

# 副 H **H**J, ]社会学作品集(全12巻·8A5·上製)

マのもと編纂・収録した必読の作品集刊行開始。社会・歴史・人間省察等、多岐にわたる豊富な作品群を、 12 のテ

第Ⅱ巻 死者とのつながり 第一回配本 三七〇〇円

第Ⅲ巻 老いとはなにか 現代世界の子どもたち第3回配本 第2回配本

日本文化試論

『菊と刀』ふたたび

二〇一八年五月刊行予定第4回配本

四六〇〇円 三九〇〇円

二〇一八年五月刊行予定第5回配本 以下続刊

# 西洋児童美術教育の思想

要真理子・前田茂監訳 A5・一ドローイングは豊かな感性と創造性を育むか? A5·上製·四四〇頁·三六〇〇円

芸術体験の転移効果

リッテルマイヤー著 遠藤孝夫訳 A5・上製・一五二頁・二〇〇〇円―最新の科学が明らかにした人間形成の真実 高喬券皆 四六・上製・二七二頁・二四〇〇円子どもの生きられる空間―生・経験・意味生成

高橋勝著四十二年の自己生成―教育人間学の視界流動する生の自己生成―教育人間学の視界

子どもの道草 【居住福祉ブックレット7】

水月昭道著

四六・並製・一〇四頁・七〇〇円

最新刊

主権者の社会認識 庄司興吉著 主権者の協同社会へ A 5·並製·二五六頁·二四〇〇円 A5・並製・二八八頁・二六〇〇円 ―新時代の大学教育と大学生協 - 自分自身と向き合う

歴史認識と民主主義深化の社会学 A 5·上製·三六八頁·四二〇〇円

> 最新刊 現代 石濱照子著 **(7)** 自殺

追い詰められた死:社会病理学的研究 A5・上製・二四〇頁・二八〇〇円

発達障害支援の社会学―医療化と実践家の解釈

A5·上製·二四〇頁·三六〇〇円

福田誠治著
A5・上製・六六四頁・六二〇〇本オリベラル期教育の思想と構造―書き換えられた教育の原理 A5·上製·六六四頁·六二〇〇円

北野秋男·下司晶·小笠原喜康著 現代学力テスト批判 ―実態調査・思想・認識論からのアプローチ A5·上製·二七二頁·二七〇〇円

最新刊 学力格差拡大の社会学的研究―学力調査結果が示すもの学力格差拡大の社会学的研究―小中学生への追跡的 A 5·上製·一七六頁·二八〇〇円

最新刊 アクティブラーニング型授業の基本形と生徒の身体性

溝上慎一著 [学びと成長の講話シリーズー] 四六・並製・一八四頁・一〇〇〇円

最新刊 李霞編著 グローバル人材育成と国際バカロレアーアジア諸国の A5・上製・二〇八頁・二九〇〇円

最新刊 北垣郁雄編著
A5:上製:二八〇頁:三a学生エリート養成プログラム「アメリカ、アメリカ、 A5·上製·二八〇頁·三八〇〇円

多田学志著 A5:上製:ニ九六頁:ニハ〇〇円 グローバル時代の対話型授業の研究-実践のための120要件 高等専修学校における適応と進路(後期中等教育の)

イングランドのシティズンシップ教育政策の展開 カリキュラム改革にみる国民意識の形成に着目して A 5·上製·三三六頁·四六〇〇円

菊地かおり著

社会科は「不確実性」で活性化する A5·並製·二七二頁·二五〇〇円 A 5 · 上製 · 二三二頁 · 三二〇〇円 A5・上製・二〇八頁・二四〇〇円 〒113-0023

東

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514 Email tk203444fsinet.or.jp [価格税別]

東京都文京区向丘 1-20 http://www.toshindo-pub.com